



## 特集 宗教と政治

報告1・座談会

宗教と政治 世界平和統一家庭連合（旧統一協会）問題を手がかりに

（2022年11月28日、主催 日本カトリック正義と平和協議会 改憲対策部会）

講演 島蘭 進（東京自由大学学長）

<講演の要旨>

### 1 旧統一協会の問題点

ジャーナリストの藤田庄市氏は、カルト問題を①生命の破断、②性虐待、③暴力的布教、④児童虐待、⑤金銭収奪、⑥正体隠しの詐欺的布教、に整理している。だが、エホバの証人や顕正会など、これらに必ずしも当てはまらないものの、社会的問題の指摘される教団も存在し、

線引きは困難である。それでも旧統一協会の存在は際立っており、人権侵害が頻繁に、長期間行われている。大きな事件を引き起こしたオウム真理教は、設立されてから崩壊するまで10年に過ぎないが、旧統一協会はすでに60年近く活動している。

こうした旧統一協会の攻撃性は1980年代にピークを迎えた。80年代、旧統一協会は日本を